

「私は迷惑かけ通し」

渡辺 悟

私には小さな娘が3人おり、子どもの育て方にしこうさくご試行錯誤する毎日です。最近自分の育児の関わりについて思うことがあります。

「人に迷惑をかけてはいけません」という言葉がありますよね。しつけ じょうとうく 躾の常套句ですし、使いやすいのもあって、私はまだまだ年の若い娘にそんなことばかり言っているような気がします。

最近、上の娘が妹に非常に厳しいことに気が付きました。下の娘がおもちやで遊んでちょっとその場を離れた。すると上の娘がすかさず「門徒さんが来たら汚くて困るよ！片付けなさい！」と言って親がびっくりするような声で妹をしか叱ります。一見頼もしく見えるのですが、実のところ、姉である本人も片付けができていないのです。

確かに人に迷惑をかけないという意識は大切なことですが、自分は人に迷惑をかけない、いわゆる、真っ当な人間なんだと思い始めると、そうでない人に厳しくなるのかもしれない。

自分が迷惑を被ったとき、他人を許せない気持ちになることはございませんか。私はあります。しかしそういうときは、迷惑かけ通しの自分を忘れて、周りが温かく見守ってくれていた事実も忘れて、おかげさまという優しい世界を失った時ではないでしょうか。

私は迷惑かけ通し、ただただおかげさまやで、なんとか今まで生かして頂いた。迷惑をかけてはいけない世界よりも、ありがたい世界を子どもに伝えたいと思ったことでした。